

いちよし証券 ダイナミックな日本の金融情勢におけるオーダーメイド戦略

日本はアジアで第2位、世界でも第3位の経済大国であり、金融界における主要国としての役割を確固たるものにしていく。東京証券取引所は、金融サービス会社 Refinitiv（旧トムソン・ロイター社）が指摘するように、時価総額で世界第4位であり、この優位性をさらに強調している。

岸田文雄首相のリーダーシップの下、日本の資本市場の発展に対するコミットメントが高まっている。2023年9月、岸田文雄首相は「ジャパン・ウィークス」に積極的に参加した。金融庁が企画したこの一連のイベントは、資本市場を促進するための明確な呼びかけだった。この会合は、国内外の投資家のためのプラットフォームとして機能し、積極的な資産形成の重要性を強調した。

いちよし証券は、革新的な投資戦略と投資哲学によって急速に進化するこの分野で、際立った存在感を示している。いちよし証券の玉田弘文社長は、「私たちは、手数料ベースの企業収益アプローチから、資産運用アドバイスを重視するアプローチへの転換のパイオニアです」「私たちの目標は、お客様の資産を安全かつ安定的に成長させることです」と胸を張る。

「短期的な利益を追う商品もご提案しません」と玉田氏は続ける。なぜか？「お客様の長期的な利益を最優先に考えているからです。これはお客様の安定的な資産運用のために不可欠なことです。お客様の利益にならない流行の商品を勧めることもありません。その代わりに、お客様の適正に応じたアドバイスを行い、お客様の投資判断に自信を持っていただきます。当社のサービス・アプローチは、信頼と専門知識を基盤としています。お客様との関係においては、米国のエドワード・ジョーンズを手本とし、透明性と一貫性を確保しています。この揺るぎないアプローチが相互の信頼を育み、お客様にご満足いただき、継続的に投資していただくことにつながっています。これは単なる方法ではなく、私たちの哲学なのです。」

いちよしの経営理念の中核には、金融・証券界において信頼され、お客様に選ばれるブランド・ブティックハウスになることへの揺るぎないコミットメントがある。このコミットメントは、すべてのステークホルダーに及ぶものだ。社員の個性を尊重し、才能を育成し、成長を促進し、すべてのお客様から選ばれる存在になることを目指している。また、業績を向上させ、株主価値を継続的に高めていく。そして重要なこととして、社会のために、金融および証券市場の発展のために積極的な役割を果たしていくとしている。

玉田氏は、いちよしと他の証券会社を明確に区別している。いちよしは中小型成長株に特化し、厳選したアプローチをとっているからだ。この特化戦略が実を結び、いちよしの預かり資産はわずか20年で4000億円から2兆円へと拡大した。この力強い成長は投資家の

利益に直結し、投資家はいちよしの利益の 50%または純資産の 2%を半年ごとに受け取ることができる。

2023 年 4 月、いちよしは中期経営計画「3D」を発表した。2026 年 3 月までに預かり資産 3 兆円、ROE10%、コストカバー率 70%を目指す。この目標を実現するため、いちよしは顧客の投資目的に合わせた商品を提供することで、預かり資産の拡大を図る。いちよしは、こうしたソリューションを提供するだけでなく、顧客との定期的なエンゲージメントを維持し、顧客の投資ニーズを継続的にフォローすることを重視している。

いちよしの特徴は、高い評価を得ているリサーチ部門、いちよし経済研究所（IRI）にある。このリサーチ部門は、中小型成長企業分野で高い評価を得ている。IRI は 2022 年、ベストリサーチハウス・ランキングの中小型株部門において 19 年連続で首位を獲得した。圧倒的なリーチ（閲覧数）を誇る IRI のアクセス比率は約 17%で、競合他社を大きく引き離している。IRI は、IT やハイテク産業を中心に、急成長中のさまざまなセクターを掘り下げている。毎年、約 500 の企業について包括的な分析を行い、投資家向けに 3000 以上のレポートを発行している。

「日本の国内市場には大きな可能性がある」と玉田氏は語る。「投資家にとっての障壁は、正確な情報が少ないことです。私たちの強みは、そのギャップを埋めることにあり、質の高い情報提供が私たちの強みとなります。」

いちよしのコア・バリュー（信念・価値観）は社会貢献も重視しており、それは当然、サステナビリティへの注力とも合致する。環境、地域社会から、社員、株主、顧客といった個々のステークホルダーまで、持続可能性のさまざまな側面にまたがる取り組みを行っている。

同社のコミットメントは、国連の「SDGs」と共鳴している。これは、活気に満ちた包括的な職場環境の育成や、高齢化が進む世界人口のための資産管理の再構築、子どもの健康と福祉プロジェクトの支援など、多面的な取り組みに表れている。

いちよしは、課題と機会の両方を受け入れ、将来に備える準備ができている。この意味で、長期的な視野に立ち、信頼と価値創造を第一に考えるという日本のビジョンを取り入れている。

「日本はもともとエンジニアリング主導の国です。優秀な企業がたくさんあり、資産を守り成長させる仕組みと文化があります。この点で、日本はアジアでナンバーワンです。首相はこの国の強さを支持しており、勢いもあります。日本は今、魅力的な投資の選択肢となっていますので、ぜひ日本に投資してみてくださいはいかがですか。」

以上